

各位

2017年09月14日
 サイバネットシステム株式会社

光学設計解析ソフトウェア「CODE V」 最新バージョン11.1 販売開始のお知らせ

MTF^{*1}を対象とした最適化機能を強化。マルチスレッド対応で高速化も実現。

サイバネットシステム株式会社（本社：東京都、代表取締役 社長執行役員：田中 邦明、以下「サイバネット」）は、主要取引先であるSynopsys, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、以下「シノプシス社」）が開発し、サイバネットが販売・サポートする光学設計解析ソフトウェア「CODE V（コード ファイブ）」の最新バージョン「CODE V 11.1」の販売を、2017年9月14日から開始することをお知らせいたします。

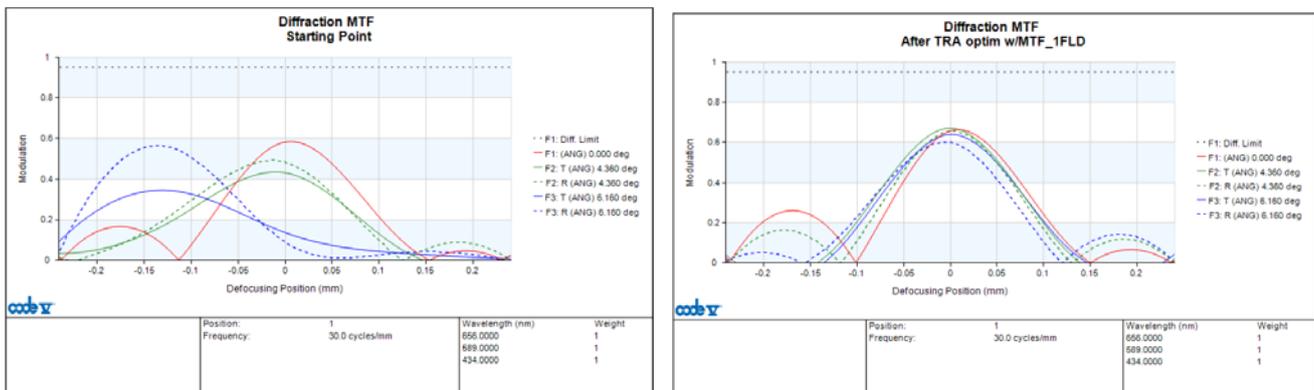
CODE Vは、光学設計（レンズ設計）・評価解析・製造支援などのための各種機能を搭載した、光学製品開発業務を総合的にサポートする光学設計解析ソフトウェアです。対象となるアプリケーションは、撮像機器（カメラレンズ、ビデオレンズなど）、投影機器（プロジェクタ、HUD^{*2}、HMD^{*3}など）、レーザー関連機器、光通信機器、医療機器、産業用計測機器、航空・宇宙関連機器など多岐にわたります。

CODE V 11.1は、MTFを対象とした最適化の機能強化が行なわれています。複数のCPUコアを使用するマルチスレッドにも対応しています。これにより、MTFのデフォーカス特性の制御や、画角中のMTFの均一性を高める最適化を高速かつ容易に行なえるようになりました。MTFは多くの撮像光学系の仕様に含まれる光学性能指標です。従って様々な種類の撮像光学系の設計・開発に威力を発揮します。特に車載用のカメラモジュールやプロジェクタ用光学系の設計に役立ちます。

CODE V 11.1 の主な新機能と機能強化

MTFを対象とした最適化の強化

最適化でMTFのデフォーカス特性を直接制御できるようになりました。これにより光学パラメータを手動で調整することなく、MTFのデフォーカス特性の対称性の確保を正確かつ素早く行なうことができます。この機能は特に、製造性を高めるために必要となるコンパクトなカメラモジュールとセンサーとの最適な配置の決定に有効です。



CODE V11.1の新機能を使用してMTFのデフォーカス特性を最適化した例
 左が最適化前の状態、右が最適化後の状態

小型レンズの描画の改良

スマートフォン用のカメラレンズで多く使用される、小さく複雑な非球面を描画する機能が改良されました。この改良は、最適化と評価のどちらにも対応します。

サイバネットシステム株式会社 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 <http://www.cybernet.jp/>

※記載されている会社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

お知らせ

材質データベースの拡張と改良

CODE Vのガラスカタログが拡張され、ニコンの紫外線用材質カタログが追加されました。さらに、各社が提供するカタログレンズを選択するためのユーザーインターフェースが改良されるとともに、カタログレンズとして新たにAsphericon カタログが追加されました。この他、球面レンズの測定コストの削減に有効な、レンズ製造会社の原器リストも更新されています。

CODE V 11.1 の詳細については、下記Webサイトをご覧ください。

<http://www.cybernet.co.jp/codev/product/release/ver111.html>

注釈

- ※1：MTF：MTF (Modulation transfer function)は、結像光学系の解像性能を表すために用いられる評価指標。空間的な正弦波状明暗パターンを光学系に入力したときの出力像のコントラストを表すものになっている。
- ※2：HUD：ヘッドアップディスプレイ。視野上の透明なスクリーンに情報を投影する装置。実際の反射面の奥に仮想的なスクリーン面を見せることができ、外界に映像を重ねることができるため、利用者に様々な付加情報を与えることができる。近年は車載機器として採用が大きく拡大している。
- ※3：HMD：ヘッドマウントディスプレイ。HUDと同様の原理であるが、眼鏡型の小型機器となっているもの。VR/AR用機器のデバイスとして多く利用されている。

シノプシス社について

Synopsys, Inc. (Nasdaq上場コード:SNPS) は、我々が日々使用しているエレクトロニクス機器やソフトウェア製品を開発する先進企業のパートナーとして、半導体設計からソフトウェア開発に至る領域 (Silicon to Software) をカバーするソリューションを提供しています。電子設計自動化 (EDA) ソリューションならびに半導体設計資産 (IP) のグローバル・リーディング・カンパニーとして長年にわたる実績を持ち、ソフトウェア品質/セキュリティ・ソリューションの分野でも業界をリードしており、世界第15位のソフトウェア・カンパニーとなっています。シノプシスは、最先端の半導体を開発しているSoC (system-on-chip) 設計者、最高レベルの品質とセキュリティが要求されるアプリケーション・ソフトウェアの開発者に、高品質で信頼性の高い革新的製品の開発に欠かせないソリューションを提供しています。

シノプシス社に関する詳しい情報については、下記Webサイトをご覧ください。

<https://www.synopsys.com/ja-jp>

サイバネットについて

サイバネットシステム株式会社は、科学技術計算分野、特にCAE (※) 関連の多岐にわたる先端的なソフトウェアソリューションサービスを展開しており、電気機器、輸送用機器、機械、精密機器、医療、教育・研究機関など様々な業種及び適用分野におけるソフトウェア、教育サービス、技術サポート、コンサルティング等を提供しております。具体的には、構造解析、射出成形解析、音響解析、機構解析、制御系解析、通信システム解析、信号処理、光学設計、照明解析、電子回路設計、汎用可視化処理、医用画像処理など多様かつ世界的レベルのソフトウェアを取扱い、様々な顧客ニーズに対応しております。

また、企業が所有するPC/スマートデバイス管理の効率化を実現するIT資産管理ツールをはじめ、個人情報や機密情報などの漏洩・不正アクセスを防止し、企業のセキュリティレベルを向上させるITソリューションをパッケージやサイバネットクラウドで提供しております。

サイバネットシステム株式会社に関する詳しい情報については、下記Webサイトをご覧ください。

<http://www.cybernet.co.jp/>

※CAE (Computer Aided Engineering) とは、「ものづくり」における研究・開発時に、従来行われていた試作品によるテストや実験をコンピュータ上の試作品でシミュレーションし分析する技術です。試作や実験の回数を劇的に減らすと共に、様々な問題をもれなく多方面に亘って予想・解決し、試作実験による廃材を激減させる環境に配慮した「ものづくり」の実現に貢献しております。

本件に関するお問い合わせ サイバネットシステム株式会社

● 内容について

CAE第1事業本部 オプティカル事業部
 マーケティング統括室
 担当/黒木
 TEL : 03-5297-3703
 E-MAIL : optsales@cybernet.co.jp

● 報道の方は

営業推進部/平澤
 TEL : 03-5297-3094
 E-MAIL : prdreq@cybernet.co.jp

● 投資家の方は

経営企画・IR室/飯田
 TEL : 03-5297-3066
 E-MAIL : irquery@cybernet.co.jp